

## 「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の構築をめざして！

### 地域労福協役員研修会

無事終了しました。  
 ご協力に感謝します。

福岡県労福協は、2011年度事業計画に則って9月・10月の2カ月間において、7地域労福協の役員研修会を実施しました。今年で11回目となる研修会は、9月5日の福岡地域労福協を皮切りに、10月30日の遠賀川地域労福協が最終で実施しました。なお、研修会には延べ208名の出席がありました。出席された皆様には業務終了後や休日にも係らず誠に有難うございました。

研修会は、中央労福協が掲げる「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざすという2020年ビジョンを具現化するために、労働運動・労働者福祉運動が果たしてきた役割を認識・理解し、これからの地域展開に向け、次代のリーダー育成が最重要課題であるとの認識から、原点復帰を含め職場・地域でこれら運動の伝承者となるリーダー育成に取り組むという観点から研修会を開催しました。

研修会でのテーマは、①「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史、そして課題」、②「労働金庫の歴史と意義」、③「全労済のあゆみと現況」の3つで、①のテーマは福岡県労福協、②のテーマは九州労働金庫福岡県本部、③のテーマは全労済福岡県本部の担当役員から提起を行い、出席者との意見交換も行いました。

現況は、世代間だけでなく、地域・産業間・企業間等々、全てに格差を生んでいます。この格差社会への対抗策として生まれたのが“競争”に代わる“協同”を原理とした社会経済の構築や人々の連帯であります。これが協同組合の理念であり、まさに労働者が自分たち自身の力で自分たちの境遇を改善しようという『自助』『共助』の運動が協同組合運動であります。そして今、勤労者・生活者は、普通が普通でないから不安を感じています。その不安に労福協としてどう立ち向かうのかが問われています。

#### 研修会開催状況

労福協名	開催日	出席人員
福岡	09月04日(日)	34名
北九州	09月12日(月)	24名
北筑後	10月03日(月)	27名
筑紫・朝倉	10月06日(木)	25名
南筑後	10月07日(金)	21名
京築・田川	10月17日(月)	24名
遠賀川	10月30日(日)	53名

#### .....労福協のはじまり.....

戦後、食べるものを含めて生活物資が少なかった時代、労働者の生活必需品をみんなで調達しようと、労働組合が生活協同組合等とともに、その枠組みを超えて連帯し、「労務者用物資対策中央連絡協議会」を1949年8月に設立。この中央物対協が中央労福協の前身です。1950年「中央福対協」に改称、1964年に現在の「労働者福祉中央協議会（中央労福協）」に改称。

#### .....労働金庫の誕生.....

戦後、金融機関が労働者への融資に応じなかったことから、労働者の生活費の調達は高利貸しや質屋頼みでした。中央労福協を中心に、質屋と高利貸しからの解放をめざした「労働者の労働者による労働者のための銀行」の設立の協議会が作られ、1953年に労働金庫法が制定。労働金庫が全国に誕生していくこととなります。1950年9月の岡山県労働金庫が最初。



筑紫・朝倉地域労福協研修会・主催者挨拶を行う福岡県労福協・高島喜信会長（写真中央）

#### .....全労済のあゆみ.....

労働者共済事業について、中央労福協「共済専門委員会」で議論され、1954年に大阪で、翌年に新潟で火災共済事業が立ち上がりました。その直後、新潟で大火災が発生しました。共済事業の財政基盤がまだ十分整っていなかったにもかかわらず、全国の労働組合の協力で所定の給付を迅速に行ったことが「共助」としての労働者共済事業の評価を高めることになり、各県での共済事業が本格化していき、今日の全労済誕生の契機となりました。

中央労福協は10月13日・14日の両日、横浜市中区山下町「産業貿易センター」において、2011年度事業団体・地方労福協合同会議を開催しました。合同会議には関係事業団体代表者及び都道府県労福協担当者など74名が出席しました。

合同会議では、遠藤副会長が座長を務め、主催者を代表して山本幸司会長職務代行から挨拶がありました。挨拶では、連合第12回定期大会についてふれ、組織労働者のためだけの運動ではなく、国民と向いあう運動が必要」と述べた。また日本社会について「持続可能でない社会への対応は、国民世論との対話の中で具体的な対策を講じる必要がある」との考え方を述べました。

協議事項では、11月25日に開催される中央労福協第60回定期総会の運営及び活動方針素案について協議が行われ、第一日目が終了しました。翌日14日午前中では、事業団体及び地方労福協から特徴的な事業活動について報告と意見交換を行いました。

**【出席した事業団体】**

- ◇日本労働組合総連合会
- ◇全国労働金庫協会
- ◇全国労働者共済生活協同組合連合会
- ◇日本生活協同組合連合会
- ◇全国住宅生活協同組合連合会
- ◇全国労働者福祉会館協議会
- ◇全国勤労者旅行会連合会
- ◇日本労働者協同組合連合会
- ◇全国中小企業勤労者福祉サービスセンター
- ◇日本医療福祉生活協同組合連合会
- ◇株式会社ワークネット

以上11団体

**地域だより ～北九州地域労福協～**



**“ギラヴァンツ北九州”応援ふれあい「フットサル大会」を開催**

北九州地域労福協は一昨年、北九州地域において市民が一体的に盛り上がることで市の活性化、さらには未来に向けての青少年の育成などを目的に、連合北九州地協と合同での「応援検討委員会」を設置し、ギラヴァンツ北九州を応援してきました。今年度は、北九州地域労福協内に「文化・スポーツ振興委員会」を設置し、当面は主にギラヴァンツ北九州の応援を行うこととして、応援内容の検討を行ってきました。

市民の盛り上がり策に特効薬はなく、応援と費用支援の観点から、さまざまな内容を各構成組織で実行して頂いていますが、その一つとして昨年行った「ふれあいフットサル大会」を、下記の要領で実施致しました。

薄くもりの涼しい秋風の中、約600名の方がさわやかな汗を流しました。個別のドラマは、参加者の数だけありますが、ギラ1参加のチームは、個人技、チームの連携とも、見る者を飽きさせないプレーが随所に出ていました。また、日頃の運動不足が明らかと思える珍プレーも多々ありました。筋肉痛の方も多く出たと思いますが、和やかな一日を過ごすことが出来ました。

1. 日時：2011年10月2日（日）8時30分～15時00分
2. 会場：北九州市八幡西区「本城運動場」
3. 主催：北九州地域労働者福祉協議会
4. 共催：連合福岡北九州地域協議会
5. 後援：北九州サッカー協会
6. 協力：ギラヴァンツ北九州
7. チーム：58チーム+ギラ・キッズ  
 ギラ1：本気でフットサル＝24チーム  
 ギラ2：楽しくフットサル＝34チーム  
 ギラキッズ：小学生を対象＝約20名
8. 対象者：会員・組合員及びその家族



フットサル大会での競技風景／本城運動場



## 福祉募金

# 各地域で物品贈呈が行われる

2010年度（12月～3月）に各地域で取り組みました福祉募金活動では、総額730万円余りの募金が寄せられました。

現在、各地域労福協において、寄せられた浄財をもとに、福祉施設を中心に物品寄贈先の選定作業が行われていますし、既に物品寄贈が終了した地域もあります。

この間の会員の皆様方の温かいご支援に感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



遠賀川地域労福協／7月13日  
母子生活支援施設の「アゼリア宮田」へ座卓、台所収納庫、ホットプレート、掃除機等を寄贈しました。



南筑後地域労福協／9月13日  
八女市にある届出保育施設の「うのいけ幼稚園」へ、室内用エアコン1台、保育室テレビ1台を寄贈しました。



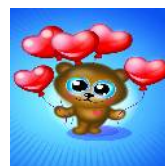
南筑後地域労福協／9月13日  
筑後市にある障害者福祉事業を行っているNPO法人「はねっこの会」へ、室内用エアコン2台を寄贈しました。



北九州地域労福協／10月16日  
北九州市社会福祉協議会が管理運営する身体の不自由な方々の移動送迎事業に対して、送迎サービス車両1台の贈呈を行いました。  
また、本年4月29日に開催した連合メーデーにおいても送迎サービス車両1台を贈呈しており、本年度は2台の贈呈となりました。

## 2011年度福祉募金の取り組み

社団法人福岡県労働者福祉協議会は、2011年度事業計画に基づき、2011年12月1日から2012年3月31日までの4カ月間、「福祉募金活動」を展開します。会員の皆様には毎年度のことでご負担をお掛けしますが、皆様方からいただいた浄財は、困窮する施設への支援として役立っています。本年度もよろしくお願い申し上げます。



# 第20回連合福岡地方委員会

10月27日(木)於;都久志会館



地方委員会の会場風景／高島会長の挨拶

第20回連合福岡地方委員会は、10月27日(木)13時、福岡市中央区天神「都久志会館」において関係者約100名が出席して開催され、2011年度活動経過・決算報告及び2012年度活動方針案・予算案などの審議が行われ、3名の委員からの要望・意見を付して全ての議案が了承されました。

上野副事務局長の司会で開会し、永松副会長(自治労)より開会宣言が行われました。議長団に米田委員(フード連合)と高田委員(運輸労連)を選出したあと、執行委員会を代表して高島会長から「東日本大震災、エネルギー政策、働くことを軸とする安心社会、春闘と最賃闘争、組織拡大」などの課題と対策について挨拶がありました。

来賓挨拶では、連合・南雲事務局長と小川福岡県知事の両名から挨拶をいただきました。小川洋福岡県知事の挨拶では「県民の安心・安全を県政の柱とする。雇用問題は特に中小企業への支援強化と最低賃金の引上げの重要性など、幸福が実感できる福岡県を目指したい。」と決意を述べられました。

提出議案の審議では、下田事務局長から提出議案について報告と提案がなされました。提出議案に対して3名の委員から発言があり、質疑応答を経て要望・意見を付して全ての議案が了承されました。

全ての議事が終了し議長団の解任を行ったのち、浦田副会長(福教組)から閉会の挨拶があり、最後に高島会長の音頭で“団結がん



激励の挨拶を行う小川洋福岡県知事

## 福岡県の最低賃金が改定されました!

### 地域別最低賃金

改定額	結審日	引上額	発効年月日
695円	平成23年8月18日	3円	平成23年10月15日

発効日以降、改定額を下回る時間給は法律違反です。

### 特定最低賃金

産業別	結審日	引上額	改定額	発効年月日
百貨店、総合スーパー	平成23年10月3日	3円	758円	平成23年12月10日 (統一発効日)
輸送用機械器具製造業	平成23年10月4日	4円	809円	
自動車(新車)小売業	平成23年10月4日	3円	800円	
製鉄業、製鋼、製鋼圧延業	平成23年10月5日	4円	828円	
電子部品、デバイス、電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	平成23年10月6日	4円	786円	



# 2011福岡県民さわやかマラソン大会

## 史上最高の2136人組がエントリー／11月13日・海の中道海浜公園

今年で11回目を迎えます2011福岡県民さわやかマラソン大会が11月13日（日）、福岡市東区西戸崎の海ノ中道海浜公園特設コースにおいて開催されました。

大会当日は、うっすらと陽がさす絶好のマラソン日和で、大会参加者も大会史上最高の2,136人組のエントリーがありました。また、遠くは新潟県からの参加もありました。家族・応援者を含めると3,000人を超える方々が海の中道海浜公園に集まったと推計されます。

10時から開会式、選手宣誓、準備体操が行われたあと、10時45分最初の競技種目である1km小学生3年の部が号砲と同時にスタートしました。競技種目は1km・2km・5km・10kmの男女別・学年別・年代別と、親子ペアの1km・2kmの10種目36部門で競技が行われました。13時30分には閉会式が執り行われ、大きな事故もなく大会は無事に終了しました。



〔開会式風景／舞台上は来賓及び大会役員〕  
舞台中央は開会宣言を行う丸林茂夫大会副実行委員長（福岡県青少年育成県民会議副会長）。



閉会挨拶を行う高島喜信大会副委員長（福岡県労働者福祉協議会会長）。

2011福岡県民さわやかマラソン大会は、延べ200人を超えるボランティアスタッフが運営を支えていただきました。また、多くの企業・団体等の協賛を頂きながら諸準備が進められました。

特に、福岡県労福協会員である各地域労福協、連合福岡、九州労働金庫福岡県本部、全労済福岡県本部、福岡県生協連の皆様には、ボランティアスタッフの派遣及び大会協賛に多大なご支援を賜りましたこと、厚く感謝申し上げます。

福岡県民さわやかマラソン大会も年々参加者が増えていきますし、公園という条件も重なって家族ずれでの参加も増えており、まさにワーク・ライフ・バランスには恰好なイベントとなりつつあります。次年度大会の更なる盛り上がりを目指します。



選手受付風景



選手宣誓／東住吉小学校の生徒さん



準備体操／インストラクターによる指導



1km小学生3年生の部スタート



10km種目の走者（5km付近）



10km30歳～49歳まで女子の部表彰式

# 「東日本大震災復興支援定期」における義援金の贈呈

九州ろうきんでは、「東日本大震災」の復興支援を目的に、2011年5月1日から7月31日までの期間「東日本大震災復興支援定期預金」の取扱いを実施いたしました。「東日本大震災復興支援定期預金」は、九州全体で、34,048,056,5185円の預金決死優となり、福岡県では7,417,647,926円の実績となりました。

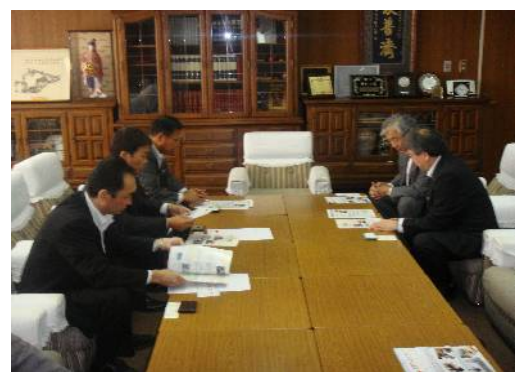
九州ろうきんでは、預金総額の0.1%にあたる34,048,056円の義援金を預金総額に応じて各県内の日本赤十字社の支部に寄贈する事となり、福岡県では7,417,649円を日本赤十字社福岡県支部へ寄贈しました。

9月29日（木）に贈呈式を開催し、当日は、中村県本部長のほか、西村理事、山口県推進委員会委員長にも参集いただき、日本赤十字社福岡支部西田事務局次長へ目録を贈呈しました。



〔贈呈式〕

写真左から西村理事、日本赤十字社福岡県支部・西田事務局次長、中村本部長、山口県推進委員長。



〔趣旨説明〕

## 全労済は、住まいと暮らしの安心のために、 「防災・保障点検運動」を展開します！

ZENROSAI NEWS  
7911Z012

大規模災害が現実化した今日、  
私たち一人ひとりが自分の現状を知り、  
生命の安全と被災後の生活再建のために、  
今できることを確実にしておくことが急務といえます。  
「防災・保障点検運動」は、  
アンケートによるパーソナルな診断によって、  
今なすべきことを明らかにし、  
災害に対する的確な対応を支援する運動です。



### ●点検運動3つの視点●



自ら火災などを起こさないように気をつけたり、地震に備えて家具の固定など室内の安全対策をしておく必要があります。



災害時に起こる状況を想定して、火災や風水害など、事象ごとに身を守る行動を考えておく必要があります。



被災後1日でも早く生活を建て直すために、今の保障などがどこまであなたや家族を助けてくれるか確認しておく必要があります。



私からはじめる...  
防災Q保障点検運動

保障のことなら  
**全労済**  
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。  
全国労働者共済生活協同組合連合会

福岡県本部 092-739-6100  
(福岡県労働者共済生活協同組合)